

新育第 2 1 6 号の 2
令和 3 年 5 月 2 1 日

保 育 園 長 様
認 定 こ ど も 園 長 様
地 域 型 保 育 事 業 施 設 長 様
認 可 外 保 育 施 設 長 様
病 児 ・ 病 後 児 保 育 事 業 施 設 長 様

新潟市こども未来部
保 育 課 長
(担当 保育指導グループ)

事故発生報告（令和 2 年度分）について

日ごろより、保育園児の健康及び安全について十分ご配慮いただき感謝申し上げます。
園におけるケガや事故の状況を把握するため、園児の事故発生状況をご報告いただいておりますが、この度、令和 2 年度下半期（R 2.10 月～R 3.3 月）に提出いただいた「災害報告書」「事故報告書」を集計し、年間の事故件数集計結果を別紙のとおりまとめました。年間の事故の傾向についてご確認いただき、今後の参考にさせていただきま
すようお願いいたします。

◆問い合わせ先◆

こども未来部保育課

保育指導グループ 長谷川

TEL 025-226-1216

(内線 31216)

【令和2年度 新潟市事故報告件数】

保育課へ届いた年間事故報告件数

1,691 件

市立保育施設 712 件
 私立保育園 371 件
 私立認定こども園 586 件
 地域型保育事業施設 22 件

重大事故等件数

189 件

骨折 100 件

〈内訳〉 下肢：24 上肢：65
 鎖骨：2 肋骨：2
 顔面：7

縫合 82 件

〈内訳〉 頭：16 額：8 顎：22
 頬：5 目・目の周り：15
 耳：1 歯・口：11
 上肢：2 下肢：2

歯・口腔内 3 件

その他 4 件

〈内訳〉 熱傷：2 窒息：1
 園バス事故：1

R2 国報告した事故件数

15 件

R1 年度末発生事故の治療期間が長引いたため
 R2 年度に入ってから報告したものの 1 件を含む

(全報告件数の約 0.9%)

〈公私別〉

市立 3 件
 私立 12 件

〈男女別〉

男 6 件
 女 8 件

〈内容別〉

骨折 14 件

〈年齢別〉

2 歳 1 件
 4 歳 4 件
 5 歳 6 件
 6 歳 3 件

〈施設別〉

保育園 6 件
 認定こども園 9 件

※園バスによる交通事故については、園外で発生したものであり、複数の傷病者が発生しているため男女別、内容別、年齢別の件数はカウントしていない。

令和2年度は、1,691 件の事故報告がありました。その内、189 件が骨折や縫合を伴うけがの「重大事故等」で全体の約 11% でした。内訳は、骨折が 100 件（疑い 11 件を含む）、縫合が 82 件、歯・口腔内 2 件、その他 4 件でした。骨折には、比較的軽度なものから手術を伴うものがあり、経過によってギブス装着期間が長引き「国報告対象」となるケースもありました。

【事故報告件数(R2.4月～R3.3月)】

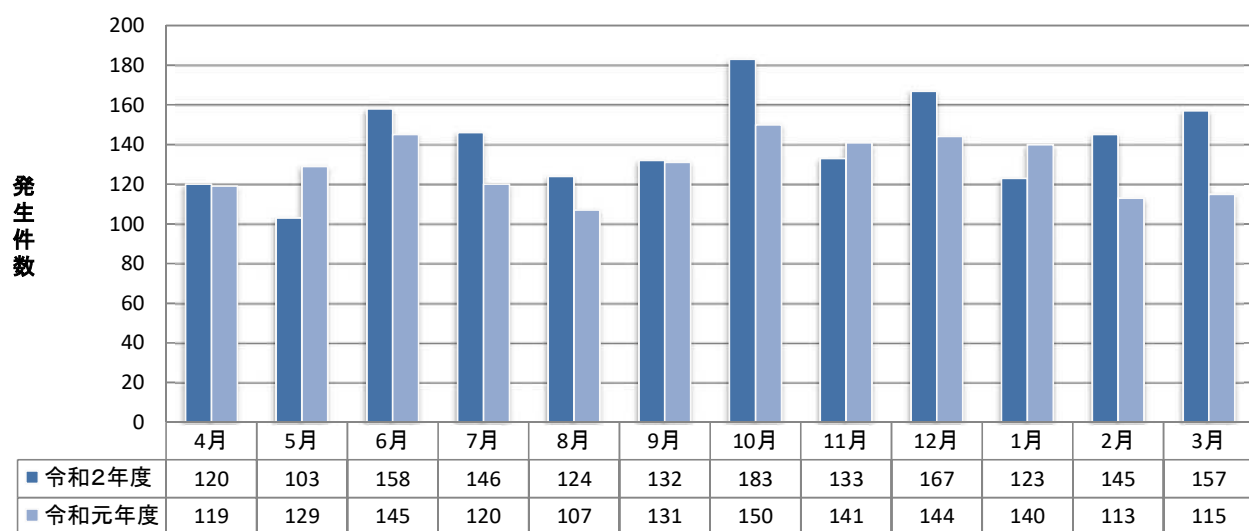
* 事故報告件数は、市立保育施設、私立保育園、私立認定こども園、地域型保育事業施設の合計

令和2年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
報告件数(合計)*		120	103	158	146	124	132	183	133	167	123	145	157	1691
部位	骨折	10	7	10	8	14	6	13	6	4	6	8	8	100
	頭	14	4	10	3	8	8	9	9	9	6	3	9	92
	口・歯	30	40	42	51	31	49	62	40	57	54	58	57	571
	目・目の周り	13	13	14	15	24	12	15	18	33	19	30	21	227
	額	11	3	8	7	4	6	12	14	12	1	7	11	96
	あご	5	6	3	2	1	2	6	6	4	8	7	6	56
	頬	10	5	14	4	2	9	17	15	8	10	7	12	113
	肘内障	10	7	16	19	11	14	18	7	10	7	7	17	143
	その他	17	18	41	37	29	26	31	18	30	12	18	16	293
うち県・国への報告		1	1	1	2	2	1	2	1	1	2	1	0	15
令和元年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
報告件数(合計)*		119	129	145	120	107	131	150	141	144	140	113	115	1554
部位	骨折	6	3	11	4	4	7	12	4	6	7	8	5	77
	口・歯	51	47	43	44	32	49	41	45	44	53	29	34	512
	目・目の周り	15	14	15	11	4	18	18	21	19	16	19	15	185
	肘内障	8	11	9	7	13	13	13	13	16	9	10	3	125
	その他	62	48	68	37	42	49	63	58	50	34	44	62	617
うち県・国への報告		3	1	1	1	0	2	2	1	2	0	0	2	15

令和2年度年間の事故報告件数は、1,691件でした。令和元年度と比較すると、137件増加しています。下記の棒グラフで昨年度と比較してみると、増加している月が多く、1年の半分以上あることがわかります。

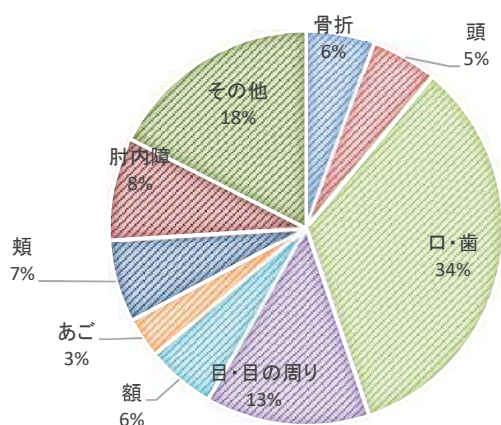
5月は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下で、登園自粛を要請していたため、事故件数の減少が見られますが、年間を通して増加している月が多くありました。各施設においては、「自園の事故発生状況はどうだったのか」「(増加したのであれば)事故が増加した原因がどこにあるのか」など、ヒヤリハットや事故報告の分析を行って事故予防の意識を高め、事故の減少に繋げていきましょう。

【月毎の事故報告件数】



【部位・種類別事故件数の割合】

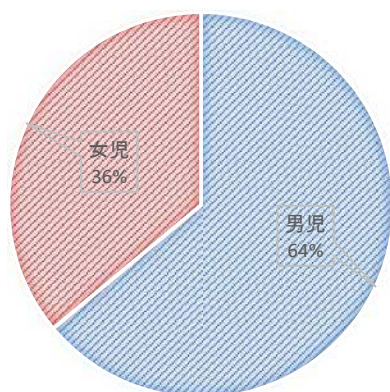
(R2.4月～R3.3月)



左の円グラフは、年間の部位・種類別事故件数の割合を示したものです。頭・顔面のケガが全体の68%を占めていることがわかります。そのケガの内容をみると、多い順に「挫傷・打撲」「裂創」「擦過傷」「切創」「挫創」「歯の亜脱臼」「歯牙破折」となっていました。頭や顔面のケガは、縫合を伴う処置をすることが少なくありません。令和2年度の縫合を伴う事故は、82件あり、そのほとんどが、頭・顔面のケガでした。(別紙1 参照)

【事故件数男女比】

(R2.4月～R3.3月)



年齢	性別	男児	女児	計	年齢比
0歳		9	8	17	1.4%
1歳		134	96	230	13.8%
2歳		195	99	294	18.8%
3歳		189	108	297	17.9%
4歳		224	113	337	22.6%
5歳		207	123	330	19.8%
6歳		123	63	186	5.6%
計		1081	610	1691	

男女比 男児 64.0% 女児 36.0%

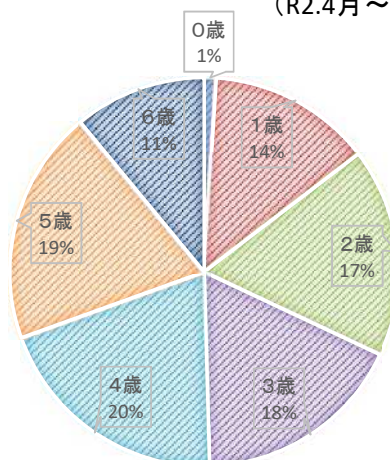
左の円グラフは、年間事故報告件数の「男女比」「年齢比」をあらわしたものです。

男女比については、男児64%、女児36%で男児の事故が多いということがわかります。独立行政法人日本スポーツ振興センターの全国的な集計をみても令和2年度の男女比は男児61%、女児39%となっていました。

年齢比については、3歳～6歳が全体の68%を占めていることがわかります。幼児クラスになると、活動時間も未満児に比べて長くなり、また、運動機能も発達し、様々な遊びにチャレンジする気持ちも高まってきます。それに伴ってケガのリスクも高まっているといえるでしょう。

【事故件数年齢比】

(R2.4月～R3.3月)



<リスクとハザード>

遊具は、子どもに楽しい遊びを提供する大切な道具です。遊びにはある程度の危険が伴うもので、この危険への挑戦が楽しさにつながり、さらには危険を回避する能力や、危険を予知する能力が養われます。遊びの楽しさに伴う危険を「リスク」といいます。一方、遊びの楽しさに無関係で、あってはならない危険を「ハザード」といいます。

(一般社団法人日本公園施設業協会編集発行「仲良く遊ぼう安全に」より引用)

<ハザードの例>

- ・遊具そのものの腐食、摩耗、劣化等
- ・子どもの流れがぶつかるような遊具の配置
- ・遊びながらふざけて押す、突き飛ばす、動く遊具に近づく
- ・絡まりやすいひものついた衣服、マフラー、カバン、水筒などを身につけたまま遊ぶ

【国報告対象重大事故発生状況(R2.4月～R3.3月)】

令和2年度、国への報告対象となった事故は以下の通りです。

＜国への報告対象となる重大事故とは＞

- ・死亡事故
- ・治療に要する期間が30日以上を負傷や疾病を伴う重篤な事故等

	満年齢 性別	場所	発生状況
	傷病名	時間	
1	5歳8か月 女児 右足首外果骨折	園庭 16:30頃	鬼ごっこ中、地面に埋められているタイヤにつまずき転倒。 ギプス装着期間が30日を超えたため国報告の対象となった。
2	4歳8か月 男児 左上腕骨外果骨折	園庭 10:45	サッカー教室中、ボールを持ち友だちのおしりにボールタッチする遊びを行っていた時、両肘をつくかたちで転倒した。
3	4歳1か月 男児 左上腕骨顆上骨折	遊戯室 15:45頃	跳び箱から雲梯に飛び移ろうとしたが、雲梯をしっかりつかめずにマットの上に落下。
4	5.6歳児 男女児 打撲・擦過傷等	公道 11:50頃	園バスによる交通事故
5	4歳3か月 女児 左手首骨折(手術) 左橈骨遠位端骨折	遊戯室 11:40頃	布団敷きの際、履いていたシューズを脱ぎに保育室に戻ろうとしたところ物入れの戸にぶつかり転倒。骨がずれているため手術となる。
6	4歳6か月 男児 尺骨急性塑性変性 橈骨急性塑性変性	園庭 9:40頃	園庭に出てすぐに鉄棒で前回りをしたとき、体重を支えきれずに手を放してしまい、左腕を下にして落下。
7	5歳6か月 女児 右両前骨骨幹部骨折	保育室 16:50頃	延長保育で使用する保育室に移動する途中、廊下で転倒。 その際、右手をついて防御したところ骨折。手術となる。
8	5歳11か月 女児 左肘骨折(手術)	遊戯室 11:05頃	運動あそび中、4段の跳び箱を数回安定して跳んでいたが、次に両手をついた時に滑ってしまい、落下し肘から着地。骨のズレで神経を圧迫しているため手術となる。
9	6歳4か月 男児 左肘骨折	園庭 13:20頃	木製固定遊具から足を滑らせ地面に落下。地面に左腕を強打し骨折。
10	5歳3か月 男児 右肘骨折	遊戯室 9:20頃	ドッチボールをして遊んでいるとき、相手のボールをよけた際転倒し右肘を床に強打する。検査により手術が必要となる。
11	5歳10か月 男児 右第2・第3中手骨基部骨折	園庭 16:20頃	ドッチボールをしていたところ、転がったボールを追いかけて他児と衝突。本児の右手の上に転倒した他児が乗り、人差し指・中指の付け根を2か所骨折。ギプス装着が30日を超えたため国報告の対象となった。
12	2歳11か月 女児 右手首骨折	廊下 17:40	降園の身支度の際に、コート掛けのバーをつかみ、コート掛けと一緒に転倒し、手首を骨折。
13	6歳1か月 女児 上腕骨顆上骨折(手術)	遊戯室 16:45頃	並べたゲームboxの上に寝転んでいたところ、寝返りを行った際落下し、右肘の内側を床にぶつけた。骨折の診断を受け手術となる。
14	5歳5か月 女児 左足腓骨骨折	遊戯室 10:00頃	サッカー教室中、6対6の試合形式で活動していた時に転倒し左足腓骨を骨折。軟骨の骨折のため長期のギプス装着となった。
15	6歳4か月 女児 右橈骨遠位端骨折	園庭 9:20頃	園庭でマラソン中、他児の足にからまり転倒。その際右手首をひねった状態で地面に手をつき骨折。ギプス装着期間が30日を超えたため国報告の対象となった。